

＜大腿骨頸部骨折＞

今回は大腿骨頸部骨折についてです。

高齢者の寝たきりの原因として、骨折によるものは第3位（1位：脳卒中、2位：老衰）と言われており、その中でも 大腿骨頸部骨折によるものが多数を占めています。また高齢化に伴いこの骨折は近年増加しており、今後更に増えると予想されています。

大腿骨頸部骨折とは・・・

太ももの骨（大腿骨）の上端を骨頭といい、大腿骨頸部とは、丸い骨頭の下のかぶれてる部分を指します。若い人は骨密度が高いこともあり、単なる転倒が原因で大腿骨頸部骨折を起こすことはめったにありませんが、高齢者、特に骨粗鬆症により骨がもろくなっている方（女性に多い）はちょっとした転倒などによる衝撃でも受傷してしまいます。

大腿骨頸部骨折は、受傷したら緊急の手術に準ずる対応を取るのが一般的ですが、高齢者では他の疾患や持病により、手術出来ないケースも起こり得ます。

長期間ベッドで安静にすることを余儀なくされると、持病が悪化するだけでなく、呼吸器系、循環器系、消化器系、尿路系の病気など、さまざまな合併症を起こす危険性が高まり全身状態が悪化して要介護状態、なかには死亡に至るケースもあります。

まずは転倒を防止する事、特に筋力低下などで姿勢・体勢のバランスが不安定、視力低下・聴力低下による危険因子の認識不足、認知障害などによる安全判断不足、催眠剤や向精神薬など薬剤の副作用による足もとのふらつき等がある方は注意しましょう。